

高松協同病院の診療データ

退院患者数（2023年4月～6月）

回復期リハビリテーション病棟から退院された患者数です。

西病棟 51人 東病棟 55人

退院患者の回復期リハビリテーションを要する状態の区分別内訳 （2023年4月～6月の退院患者）

	西病棟	東病棟
脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態又は義肢装着訓練を要する状態	14名	7名
高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷	28名	3名
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は2肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	4名	34名
外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態	4名	10名
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態	0名	0名
股関節又は膝関節の置換術後の状態	1名	1名
急性心筋梗塞、狭心症発作その他急性発症した心大血管疾患又は手術後の状態	0名	0名
適応外	0名	0名

リハビリテーション実績指数（2023年1月～2023年6月）

回復期リハビリテーション病棟におけるリハビリテーションの提供実績（FIM改善結果）が一定の水準以上であることを示す指数です。基準は40以上。

病棟全体 52.0

（揭示日：2023年7月）

高松協同病院の診療データ

退院患者数（2023年1月～3月）

回復期リハビリテーション病棟から退院された患者数です。

西病棟 45人 東病棟 50人

退院患者の回復期リハビリテーションを要する状態の区分別内訳 （2023年1月～3月の退院患者）

	西病棟	東病棟
脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態又は義肢装着訓練を要する状態	11名	8名
高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷	29名	6名
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は2肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	2名	27名
外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態	2名	4名
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態	0名	0名
股関節又は膝関節の置換術後の状態	1名	4名
急性心筋梗塞、狭心症発作その他急性発症した心大血管疾患又は手術後の状態	0名	0名
適応外	0名	1名

リハビリテーション実績指数（2022年10月～2023年3月）

回復期リハビリテーション病棟におけるリハビリテーションの提供実績（FIM改善結果）が一定の水準以上であることを示す指数です。基準は40以上。

病棟全体 55.3

（揭示日：2023年4月）

高松協同病院の診療データ

退院患者数（2022年10月～12月）

回復期リハビリテーション病棟から退院された患者数です。

西病棟 50人 東病棟 55人

退院患者の回復期リハビリテーションを要する状態の区分別内訳 （2022年10月～12月の退院患者）

	西病棟	東病棟
脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態又は義肢装着訓練を要する状態	12名	9名
高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷	31名	4名
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は2肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	4名	26名
外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態	2名	10名
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態	0名	0名
股関節又は膝関節の置換術後の状態	1名	6名
急性心筋梗塞、狭心症発作その他急性発症した心大血管疾患又は手術後の状態	0名	0名
適応外	0名	0名

リハビリテーション実績指数（2022年10月～2022年12月）

回復期リハビリテーション病棟におけるリハビリテーションの提供実績（FIM改善結果）が一定の水準以上であることを示す指数です。基準は40以上。

病棟全体 60.5

（揭示日：2023年1月）

高松協同病院の診療データ

退院患者数（2022年7月～9月）

回復期リハビリテーション病棟から退院された患者数です。

西病棟 55人 東病棟 49人

退院患者の回復期リハビリテーションを要する状態の区分別内訳 （2022年7月～9月の退院患者）

	西病棟	東病棟
脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態又は義肢装着訓練を要する状態	12名	11名
高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷	33名	5名
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は2肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	5名	26名
外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態	2名	5名
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態	0名	0名
股関節又は膝関節の置換術後の状態	3名	2名
急性心筋梗塞、狭心症発作その他急性発症した心大血管疾患又は手術後の状態	0名	0名
適応外	0名	0名

リハビリテーション実績指数（2022年4月～2022年9月）

回復期リハビリテーション病棟におけるリハビリテーションの提供実績（FIM改善結果）が一定の水準以上であることを示す指数です。基準は40以上。

病棟全体 47.6

（揭示日：2022年10月）

高松協同病院の診療データ

退院患者数（2022年4月～6月）

回復期リハビリテーション病棟から退院された患者数です。

西病棟 44人 東病棟 60人

退院患者の回復期リハビリテーションを要する状態の区分別内訳 （2022年4月～6月の退院患者）

	西病棟	東病棟
脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態又は義肢装着訓練を要する状態	11名	10名
高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷	27名	8名
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は2肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	2名	35名
外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態	3名	0名
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態	0名	0名
股関節又は膝関節の置換術後の状態	1名	7名
急性心筋梗塞、狭心症発作その他急性発症した心大血管疾患又は手術後の状態	0名	0名
適応外	0名	0名

リハビリテーション実績指数（2022年1月～2022年6月）

回復期リハビリテーション病棟におけるリハビリテーションの提供実績（FIM改善結果）が一定の水準以上であることを示す指数です。基準は40以上。

病棟全体 48.0

（揭示日：2022年7月）

高松協同病院の診療データ

退院患者数（2022年1月～3月）

回復期リハビリテーション病棟から退院された患者数です。

西病棟 56人 東病棟 54人

退院患者の回復期リハビリテーションを要する状態の区分別内訳 （2022年1月～3月の退院患者）

	西病棟	東病棟
脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症、義肢装着訓練を要する状態又は手術後	12名	4名
高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷及び頭部外傷を含む他部位外傷	38名	4名
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の骨折の発症、二肢以上の多発骨折の発症後又は手術後等	3名	37名
外科手術又は肺炎等の治療時の安静により生じた廃用症候群を有しており、手術後又は発症後	2名	3名
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後	0名	0名
股関節又は膝関節の置換術後	1名	6名
適応外	0名	0名

リハビリテーション実績指数（2021年10月～2022年3月）

回復期リハビリテーション病棟におけるリハビリテーションの提供実績（FIM改善結果）が一定の水準以上であることを示す指数です。基準は40以上。

病棟全体 45.0

（揭示日：2022年4月）